

吉野林業体感ツアー&にっぽんの木の文化を語るフォーラム 2009 in 吉野

DESIGN for The Forestry of YOSHINO 2009

日本 はかつて、すばらしい木の文化を持った国 でした。

生活のあらゆる場所に木があり、木を1本まるごと上手に使っていました。

しかし、今の日本には、木の香りがしなくなりました。

日本の山の約半分がスギやヒノキの人工林です。

木材価格の低迷により、**放置される人工林** が増えています。

人間が植えた木々は、人間がきちんと管理をしなければ、枯れゆくのみです。

奈良県吉野地方、植林の歴史が500年を数える日本でも有数の林業地ですが

ここ**吉野でも同じ** 状況下に置かれています。

木目が美しく、色艶が良く、節が無い材を取りやすい吉野材は

昔の日本人の美意識のど真ん中にいましたが

今の日本では、その価値観が大きく揺らいでいます。

でも、**スギって、すごい んですよ。美しい んです。**

とても 気持ちがいい んです。

日本で最初に植林が始まった吉野から、木の文化を失いつつある日本全国に向けて

もう一度、スギの良さを発信します！



にっぽんの森：
守って行きたい風景

朝日が差し込む
美しく幻想的な吉野の杉林

「木の国・にっぽん」に何ができるのか？ ～いまこそ吉野から木を語ろう！～

主催：日本全国スギダラケ倶楽部・関西支部 <http://www.sugidara.jp>・<http://sugikan.exblog.jp/>

協力：NPO 法人 まどり 日向建設株式会社 建築設計室 Morizo- NPO 法人 リルコネクション パワープレイス株式会社

後援：吉野町 吉野町商工会 吉野製材工業協同組合 吉野中央森林組合 吉野林材振興協議会 吉野流域林業活性化センター

杉 でざいんフォーラム 「山・街・人を“デザイン”で結び、新しい関係を考える」

日時：平成21年11月14日（土）午後2時～午後5時予定

場所：吉野製材工業協同組合

デザイナー南雲勝志氏による「日本全国スギダラケ倶楽部」の活動事例
スギとデザインの新しい可能性をテーマにした基調講演の後
吉野林業の未来を語る意見交換会を行います。

吉 野林業体感ツアー

日時：平成21年11月14日（土）～15日（日）

集合場所：新大阪駅、または現地集合

集合時間：新大阪駅周辺に午前9時集合

吉野の山林&製材見学、および、フォーラムに参加します。

フォーラム終了後、吉野山の老舗旅館にて宿泊。

南雲氏をはじめ、様々な業界の方を囲んで交流会を開催します。

ツアー参加費用について

・新大阪駅集合：¥15,000-

・吉野集合（現地）：¥14,000-

※宿泊1泊・夕朝2食付き、交流会のみ¥6,000-（食事込）です。

にっぽんの森：守ってゆきたい風景

陽光が差し込み
元気いっぱいの吉野の杉林



南 雲 勝 志 Katsushi Nagumo
デザイナー

ナグモデザイン事務所 代表
<http://www.nagumo-design.com/>

日本全国スギダラケ倶楽部 代表：新潟県六日町生まれ。
東京造形大学 室内建築科卒業後、永原浄デザイン研究所を経て
1987年ナグモデザイン事務所設立。
景観・土木のデザインから家具、インテリア、照明デザインなど
様々な分野で活動中。デザインを通じて、社会やまちづくりに
おいてのデザインの可能性を探る。
「日本全国スギダラケ倶楽部」を設立し日本全国のスギダラな人々と
共に木の文化を広げる活動を全国各地で展開中。



若 杉 浩 一 Kouichii Wakasugi
デザイナー

株式会社内田洋行 テクニカルデザインセンター
<http://www.uchida.co.jp/>

日本全国スギダラケ倶楽部 本部デザイン部長



千 代 田 健 一 Kenichi Chiyoda
デザイナー

POWERPLACE Inc. デザイン開発部
<http://www.powerplace.co.jp/>

日本全国スギダラケ倶楽部 本部広報・宣伝部長

お問い合わせ

日本全国スギダラケ倶楽部・関西支部 事務局
奈良県吉野郡吉野町橋屋5-7 吉野中央木材(株)内
担当：石橋輝一

電話：0746-32-2181

FAX：0746-32-2863

メール sugikan1@homarewood.co.jp



フォーラム・吉野林業体感
ツアーへの参加お申込み
および、スケジュール詳細
につきましては
左記のQRコードよりブログ
へアクセスくださいませ。

<http://sugikan.exblog.jp/>



植林木100%紙を使用しています。